

Social Well-being Studies

法政大学大学院

人間社会研究科

Hosei University Graduate School

修士課程

福祉社会専攻

修士課程

臨床心理学専攻

公認心理師(国家資格)受験資格取得に要する科目を開講
(財)日本臨床心理士資格認定協会第1種指定大学院

博士後期課程

人間福祉専攻

2023
法政大学

“生きる”を学ぶ。あしたに挑む。

人間社会研究科では、人間の“生”（Life）をトータルに捉えた教育研究によって、高度な専門能力、深く幅広い知識、そして豊かな人間性を養い、新たな福祉社会の担い手となるプロフェッショナルの育成をめざします。

■ 専任教員 人間社会研究科 (2022年度)



小野 純平 教授
(おの じゅんぺい)

人間社会研究科長

研究領域：臨床心理学、発達臨床心理学、心理検査学
担当科目：「臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践）」「臨床心理査定演習Ⅱ」
「臨床心理系（病理・発達）特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書：「公認心理師の基礎と実践18巻「発達障害の理解と支援」」（共著、遠見書房）、「日本版KABC-IIによる解釈の進め方と実践事例」（共著、丸善出版）、「臨床心理学30章」（共著、日本文化科学社）
学会活動：日本K-ABCアセスメント学会（理事長）、日本心理臨床学会、日本内観学会（理事）、日本LD学会等

博士（教育学）

臨床心理学

人間福祉

修士課程

福祉社会専攻

博士後期課程

修士課程

臨床心理学専攻

人間福祉専攻

公認心理師（国家資格）受験資格取得に要する科目を開講
（財）日本臨床心理士資格認定協会第1種指定大学院



伊藤 正子 教授 (いとう しょうこ)

福祉社会

人間福祉

研究領域：ソーシャルワーク論、異なる民族・文化的背景をもつ人々への社会福祉援助
担当科目：「ソーシャルワーク理論研究特論」「地域共生社会特論」
「福祉臨床系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書：「現場で働くケースワークの技―「バリエーションの原則」を基に」（共著、現代書館）「生活支援の福祉学」（共著、有斐閣）、「つながりの社会福祉―一人ひとりのエンパワメントを目指して―」（共著、生活書院）
学会活動：日本社会福祉学会、日本ソーシャルワーク学会、東京都医療社会事業協会、日本移民政策学会

博士（社会福祉学）



岩崎 晋也 教授 (いわさき しんや)

福祉社会

人間福祉

研究領域：社会福祉原論
担当科目：「福祉社会系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書：「援助するということ」（共著、有斐閣）、「社会福祉をつかむ」（共著、有斐閣）、「福祉原理―社会はなぜ他者を援助する仕組みを作ってきたのか」（単著、有斐閣）
学会活動：日本社会福祉学会、社会政策学会、社会事業史学会

博士（人間福祉）



岩田 美香 教授 (いわた みか)

福祉社会

人間福祉

研究領域：子ども・家族福祉論、教育福祉論
担当科目：「児童福祉特論」「福祉社会研究法」
「福祉臨床系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書：「現代社会の育児不安」（単著、家政教育出版社）、「福祉国家と家族」（共著、法政大学出版局）、「社会的孤立問題への挑戦」（共著、法律文化社）、「現代社会と子どもの貧困」（共著、大月書店）、「子ども家庭福祉」（共著、生活書院）他
学会活動：日本社会福祉学会、日本学校ソーシャルワーク学会、日本家族社会学会、日本司法福祉学会、貧困研究（運営委員）等

博士（教育学）



岡田 栄作 准教授 (おかだ えいさく)

福祉社会

研究領域：福祉疫学、高齢者福祉、ヘルスプロモーション
担当科目：「保健医療福祉システム特論」
主な著書：「ソーシャル・キャピタルと健康・福祉」（共著、ミネルヴァ書房）、「住民主体の楽しい「通いの場」づくり」（共著、日本看護協会出版会）
学会活動：日本公衆衛生学会（認定専門家）、日本社会医学学会、日本計量生物学学会、日本疫学会、日本社会福祉学会、日本栄養改善学会

博士（医学）



金築 優 教授 (かねつき まさる)

臨床心理学

人間福祉

研究領域：臨床心理学、認知行動療法
担当科目：「臨床心理学特論」「心の健康教育に関する理論と実践」
「臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習）」「臨床心理実習Ⅱ」
「臨床心理系（心理・地域）特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書：「大学生の心配に対するメタ認知に焦点を当てた認知行動的介入の効果」（共著、感情心理学研究17(3)）2010年、「感情への恐れとストレス反応の関連性―日本版Affective Control Scaleの作成を通して―」（共著、感情心理学研究18(1)）2010年他
学会活動：日本認知・行動療法学会、日本感情心理学学会、日本心理学会、日本心理臨床学会等

博士（人間科学）



久保田 幹子 教授 (くぼた みきこ)

臨床心理学

人間福祉

研究領域：臨床心理学、心理療法（森田療法、カウンセリングなど）、心理査定
担当科目：「臨床心理基礎実習」「医療心理学特論」
「臨床心理系（病理・発達）特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書：「臨床精神医学講座5 神経症性障害・ストレス関連障害」（共著、中山書店）、「心理療法ブリーフケース「森田療法」」（共著、ミネルヴァ書房）、「こころの医学事典」（共著、講談社）、「カウンセリングプロセスハンドブック」（共著、金子書房）、「女性とはなぜ生きづらいのか」（共著、白揚社）他
学会活動：日本森田療法学会（副理事長、研修委員長、編集委員）、日本サイコロピー学会（理事、編集委員）、日本心理臨床学会等

博士（学術）



高良 麻子 教授 (こうら あさこ)

福祉社会

人間福祉

研究領域：ソーシャルワーク論、ソーシャルアクション
担当科目：「ソーシャルワーク特論Ⅱ」「地域共生社会特論」
「福祉臨床系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書：「日本におけるソーシャルアクションの実践モデル―「制度からの排除」への対処」（単著、中央法規出版）、「独立型社会福祉士―排除された人びとの支援を目指して―」（単編著、ミネルヴァ書房）、「地域共生社会に向けたソーシャルワーク―社会福祉士による実践事例から―」（共編著、中央法規出版）、「対話社会福祉学5 ソーシャルワークの理論」（共著、中央法規出版）
学会活動：日本社会福祉学会、日本ソーシャルワーク学会、日本学校ソーシャルワーク学会、日本社会福祉士会、日本ソーシャルワーク協会

博士（ソーシャルワーク）



小林 由佳 准教授 (こばやし ゆか)

臨床心理学

研究領域：産業精神保健学、臨床心理学（産業・組織）
担当科目：「臨床心理基礎実習」「臨床心理学研究特論」「産業・労働分野に関する理論と支援の展開」
主な著書：「職場のメンタルヘルスマネジメントの対応力アップのためのSOAP記録術」（共編著、誠信書房）、「集団分析―職場環境改善術 産業保健スタッフのためのストレスチェック実務Q&A」（共著、日本産業安全学会）、「働く女性のストレスメンタルヘルスマネジメント」（共著、創元社）、「産業保健スタッフのためのセルフケア支援マニュアル・ストレスチェックと連携した職場の進め方」（共著、誠信書房）、「マインドフルネス実践のためのトレーニングマニュアル・職場のためのACT（アクト）（アクセプション&コミットメント・セラピー）」（共著、星和書店）、「ポジティブメンタルヘルスいきいき職場づくりへのアプローチ」（共編著、経産省）、「産業ストレスとメンタルヘルスマネジメントの研究から対策の構築まで」（共著、中央労働災害防止協会）
学会活動：日本産業ストレス学会（理事）、日本産業精神保健学会（評議員）、日本産業衛生学会、日本産業・組織心理学学会、日本認知・行動療法学会、日本心理学学会

博士（医学）



佐藤 繭美 教授 (さとう まゆみ)

福祉社会

人間福祉

研究領域：ソーシャルワーク論（特に死別ケアを中心として）、当事者および家族への支援（セルフヘルプ・グループを中心として）
担当科目：「ソーシャルワーク特論Ⅰ」「福祉社会研究法」
「福祉臨床系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書：「自閉症の人の死別経験とソーシャルワーク」（単著、明石書店）、「自閉症と発達障害研究の進歩2006 Vol.10」（共著、星和書店）
学会活動：日本社会福祉学会、日本ソーシャルワーク学会、日本臨床死生学会等

博士（人間福祉）



佐野 竜平 教授 (さの りゅうへい)

福祉社会

人間福祉

研究領域：アジアの障害インクルーシブな国際協力、アジア地域開発、循環型経済、障害者の暗黙知、障害者権利条約
担当科目：「アジア地域開発特論」「地域共生社会特論」
「地域・政策系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書：「An Introduction to Human Rights in Southeast Asia Vol.3」（共著、ASEAN University Network-Human Rights Education/SHAPE-SEA）「Picture Book United Nations Convention on the Rights of Persons with Disabilities」（編纂、汐文社）等
学会活動：日本福祉のまちづくり学会、Global Alliance for Public Relations and Communication Management 等

Ph.D.(Knowledge Management)

福祉社会専攻担当

福祉社会

臨床心理学専攻担当

臨床心理学

人間福祉専攻担当

人間福祉



眞保 智子 教授 (しんぼ さとこ)

福祉社会

人間福祉

研究領域：若者支援論、就労支援、障害者のキャリアデザイン
担当科目：「障害者福祉特論」「地域共生社会特論」
「福祉社会系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」「精神保健福祉特論」
主な著書：「就労支援サービス」(共著、株式会社みらい)、「グローバル時代の社会学—社会学の視点で読み解く現代社会の様相—」(共著、株式会社みらい)、「キャリアデザイン支援ハンドブック」(共著、ナカニシヤ出版)、「改訂版障害者雇用の実務と就労支援「合理的配慮」のアプローチ」(単著、日本法令)
学会活動：日本労務学会、日本職業リハビリテーション学会、日本うつ病学会、日本キャリアデザイン学会、日本社会福祉学会

博士(経済学)



図司 直也 教授 (ずし なおや)

福祉社会

人間福祉

研究領域：農業経済学、農山村政策論
担当科目：「地域空間学特論」「福祉社会研究法」
「地域・政策系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書：「就村からなりわい就農へ」(筑波書房)、「内発的農村発展論」(共著、農林統計出版)、「人口減少時代の地域づくり読本」(共著、公職研)、「田園回帰の過去・現在・未来—移住者と創る新しい農山村」(共著、農文協)他
学会活動：日本農業経済学会、政治経済学・経済史学会、農業問題研究学会、農村計画学会、日本村落研究学会

博士(農学)



高取 康之 教授 (たかとり やすゆき)

福祉社会

研究領域：異文化コミュニケーション、英語教育、
経済学(マーケティング)
担当科目：原書講読研究
学会活動：法政大学英文学会

博士(商学)



丹羽 郁夫 教授 (にわい いくお)

臨床心理学

人間福祉

研究領域：臨床心理学、コミュニティ心理学、子どもの心理療法
担当科目：「臨床心理実習Ⅰ(心理実践実習)」「臨床心理実習Ⅱ」
「心理臨床実習」「臨床心理系(心理・地域)特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書：「コミュニティ心理学入門」(共著、ナカニシヤ出版)、「よくわかるコミュニティ心理学」(共著、ミネルヴァ書房)、「心理学的支援法」(共著、北大路書房)他
学会活動：日本心理臨床学会、日本コミュニティ心理学会(副会長、編集委員)、日本遊戯療法学会、日本学生相談学会、日本社会心理学会、日本心理学会

博士(人間科学)



服部 環 教授 (はっとり たまき)

臨床心理学

人間福祉

研究領域：教育心理測定学、心理データ解析
担当科目：「データ分析法」
「臨床心理系(心理・地域)特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書：「心理・教育のためのRによるデータ解析」(単著、福村出版)、「文系のためのSPSSデータ解析」(共著、ナカニシヤ出版)、「読んでわかる心理統計法」(共著、サイエンス社)、「Q&A心理データ解析」(共著、福村出版)
学会活動：日本教育心理学会、日本テスト学会(理事)、K-ABCアセスメント学会(副理事長)、日本心理学会、日本応用心理学会

教育学博士



水野 雅男 教授 (みずの まさお)

福祉社会

人間福祉

研究領域：都市住宅政策論、市民活動運営論
担当科目：「都市・住宅政策特論」「福祉社会研究法」
「地域共生社会特論」「地域・文化系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書：「地方都市の再生戦略」(川上光彦編共著/学芸出版社)、「生活景」(日本建築学会編共著/学芸出版社)、「農山漁村における都市内企業労働者のメンタルヘルス・プログラムの構築と評価手法の実証的研究」(農林水産政策研究所レビュー第55号)他
学会活動：日本建築学会、日本都市計画学会、地域安全学会

博士(学術)



望月 聡 教授 (もちづき さとし)

臨床心理学

人間福祉

研究領域：神経心理学、認知行動病理学
担当科目：「教育心理学特論」「認知心理学特論」
「臨床心理系(病理・発達)特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書：「臨床心理学研究法特論(Ⅰ8)」(共編著、放送大学教育振興会)、「スタンダード臨床心理学Ⅰ(分担任筆、サイエンス社)」「高次脳機能障害Q&A 症候編」(分担任筆、新興医学出版社)、「心理学の「現在」がわかるブックガイド」(共著、実務教育出版)
学会活動：神経心理学会(評議員)、高次脳機能障害学会(代議員)、心理学会、パーソナリティ心理学会、心理臨床学会、感情心理学会

博士(学術)



山本 五郎 教授 (やまもと ごろう)

福祉社会

研究領域：コーパス言語学、英語学、辞書学、英語教授法(TESOL)
担当科目：「学術英語」
主な著書：「ウィズダム英和辞典第4版」(共著、三省堂)、「English on Screen : Learning Real English Through Erin Brockovich」(映画エリン・ブロコビッチで学ぶ実践英語の基本)(共著、金星堂)、「Global Issues Towards Peace DVDで学ぶ共存社会—グローバル時代を考える」(共著、南雲堂)、「見て学ぶアメリカ文化とイギリス文化」(共著、近代映画社)、「映画で学ぶ英語学—English Linguistics Through Movies」(共著、くろしお出版)、「Step Up With Movie English」(共著、金星堂)
学会活動：神経心理学会(評議員)、高次脳機能障害学会(代議員)、心理学会、パーソナリティ心理学会、心理臨床学会、感情心理学会

博士(学術)



末武 康弘 教授 (すえたけ やすひろ)

臨床心理学

人間福祉

研究領域：臨床心理学、心理学的支援法、カウンセリング・心理療法
担当科目：「臨床心理面接特論Ⅰ(心理支援に関する理論と実践)」
「臨床心理面接特論Ⅱ」「臨床心理基礎実習」
「臨床心理系(心理・地域)特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書：「ロジャーズ主要著作集(全3巻)」(共訳、岩崎学術出版社)、「ジェンドリン哲学入門」(共編著、コスモスライブラリー)、「主観性を科学化する」(質的研究法入門)(共編著、金子書房)、「心理学的支援法」(誠信書房)
学会活動：日本心理臨床学会、日本人間性心理学会、日本心理学会、World Association for Person-Centered and Experiential Psychotherapy and Counseling

博士(学術)



関谷 秀子 教授 (せきや ひでこ)

臨床心理学

人間福祉

研究領域：児童青年精神医学、精神分析学
担当科目：「精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)」
「臨床心理系(病理・発達)特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
学会活動：精神分析学会(認定精神療法医、認定スーパーバイザー)、思春期青年精神医学会(運営委員)、児童青年精神医学会(児童青年精神医学会認定医)、子どものころ専門医、日本精神神経学会(専門医、指導医)、日本心理臨床学会等

医学博士



土肥 将敦 教授 (どい まさあつ)

福祉社会

人間福祉

研究領域：ソーシャル・イノベーション、社会的企業家、CSR、
企業と社会
担当科目：「地域経営特論」「地域・政策系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書：「ソーシャル・イノベーションの創出と普及」(共著、NTT出版)2013年、「ソーシャル・エンタプライズ論」(共著、有斐閣)2014年、「ソーシャル・エンタプライズ：社会的企業の台頭」(共著、中央経済社)2006年、「CSR経営：企業の社会的責任とステイクホルダー」(共著、中央経済社)2006年
学会活動：組織学会、日本経営学会、社会・経済システム学会、企業と社会フォーラム(Japan Forum of Business and Society)

博士(商学)



野田 岳仁 准教授 (のだけ ひと)

福祉社会

人間福祉

研究領域：環境社会学、地域社会学、観光社会学
担当科目：「地域環境特論」「地域共生社会特論」
「地域・政策系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書：「生活環境主義のコミュニティ分析」(共著、ミネルヴァ書房)、「原発災害と地元コミュニティ」(共著、東信堂)、「Rebuilding Fukushima」(共著、Routledge)、「環境社会学の考え方」(共著、ミネルヴァ書房)
学会活動：日本社会学会、環境社会学会、日本村落研究学会、観光学術学会、水資源・環境学会、日本生活文化史学会

博士(人間科学)



布川 日佐史 教授 (ふかわ ひさし)

福祉社会

人間福祉

研究領域：公的扶助、社会政策
担当科目：「ソーシャルポリシー特論」「地域共生社会特論」
「福祉政策系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書：「生活保護の論点」(単著、山吹書店)、「現代の貧困と公的扶助」(共著、高菅出版)、「雇用政策と公的扶助の文脈」(共著、御茶の水書房)、「就労支援」(共著、ミネルヴァ書房)、「Das letzte Netz sozialer Sicherung in der Bewahrung」Nomos Verlag, 2012 (共著)
学会活動：貧困研究会、社会政策学会

博士(社会福祉学)



宮城 孝 教授 (みやしろ たかし)

福祉社会

人間福祉

研究領域：地域包括ケアシステム、コミュニティソーシャルワーク、
地域福祉計画などの地域福祉方法論
担当科目：「地域福祉特論」「福祉社会研究法」「福祉臨床系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書：「イギリスの社会福祉とボランティアセクター」(単著、中央法規)、「コミュニティとソーシャルワーク」(編著、有斐閣)、「地域福祉と民間非営利セクター」(編著、中央法規)、「ソーシャルワークと社会開閉—開発的ソーシャルワークの理論とスキル」(監訳、丸善出版)、「コミュニティソーシャルワークの新たな展開—理論と先進事例」(編著、中央法規)、「仮設住宅その10年—陸前高田における被災者の暮らし—」(編著、お茶の水書房)他
学会活動：日本地域福祉学会(理事)、日本社会福祉学会

博士(社会福祉学)



山本 五郎 教授 (やまもと ごろう)

福祉社会

人間福祉

研究領域：コーパス言語学、英語学、辞書学、英語教授法(TESOL)
担当科目：「学術英語」
主な著書：「ウィズダム英和辞典第4版」(共著、三省堂)、「English on Screen : Learning Real English Through Erin Brockovich」(映画エリン・ブロコビッチで学ぶ実践英語の基本)(共著、金星堂)、「Global Issues Towards Peace DVDで学ぶ共存社会—グローバル時代を考える」(共著、南雲堂)、「見て学ぶアメリカ文化とイギリス文化」(共著、近代映画社)、「映画で学ぶ英語学—English Linguistics Through Movies」(共著、くろしお出版)、「Step Up With Movie English」(共著、金星堂)
学会活動：神経心理学会(評議員)、高次脳機能障害学会(代議員)、心理学会、パーソナリティ心理学会、心理臨床学会、感情心理学会

博士(学術)



山本 五郎 教授 (やまもと ごろう)

福祉社会

人間福祉

研究領域：コーパス言語学、英語学、辞書学、英語教授法(TESOL)
担当科目：「学術英語」
主な著書：「ウィズダム英和辞典第4版」(共著、三省堂)、「English on Screen : Learning Real English Through Erin Brockovich」(映画エリン・ブロコビッチで学ぶ実践英語の基本)(共著、金星堂)、「Global Issues Towards Peace DVDで学ぶ共存社会—グローバル時代を考える」(共著、南雲堂)、「見て学ぶアメリカ文化とイギリス文化」(共著、近代映画社)、「映画で学ぶ英語学—English Linguistics Through Movies」(共著、くろしお出版)、「Step Up With Movie English」(共著、金星堂)
学会活動：神経心理学会(評議員)、高次脳機能障害学会(代議員)、心理学会、パーソナリティ心理学会、心理臨床学会、感情心理学会

博士(学術)



山本 五郎 教授 (やまもと ごろう)

福祉社会

人間福祉

研究領域：コーパス言語学、英語学、辞書学、英語教授法(TESOL)
担当科目：「学術英語」
主な著書：「ウィズダム英和辞典第4版」(共著、三省堂)、「English on Screen : Learning Real English Through Erin Brockovich」(映画エリン・ブロコビッチで学ぶ実践英語の基本)(共著、金星堂)、「Global Issues Towards Peace DVDで学ぶ共存社会—グローバル時代を考える」(共著、南雲堂)、「見て学ぶアメリカ文化とイギリス文化」(共著、近代映画社)、「映画で学ぶ英語学—English Linguistics Through Movies」(共著、くろしお出版)、「Step Up With Movie English」(共著、金星堂)
学会活動：神経心理学会(評議員)、高次脳機能障害学会(代議員)、心理学会、パーソナリティ心理学会、心理臨床学会、感情心理学会

博士(学術)



山本 五郎 教授 (やまもと ごろう)

福祉社会

人間福祉

研究領域：コーパス言語学、英語学、辞書学、英語教授法(TESOL)
担当科目：「学術英語」
主な著書：「ウィズダム英和辞典第4版」(共著、三省堂)、「English on Screen : Learning Real English Through Erin Brockovich」(映画エリン・ブロコビッチで学ぶ実践英語の基本)(共著、金星堂)、「Global Issues Towards Peace DVDで学ぶ共存社会—グローバル時代を考える」(共著、南雲堂)、「見て学ぶアメリカ文化とイギリス文化」(共著、近代映画社)、「映画で学ぶ英語学—English Linguistics Through Movies」(共著、くろしお出版)、「Step Up With Movie English」(共著、金星堂)
学会活動：神経心理学会(評議員)、高次脳機能障害学会(代議員)、心理学会、パーソナリティ心理学会、心理臨床学会、感情心理学会

博士(学術)



山本 五郎 教授 (やまもと ごろう)

福祉社会

人間福祉

研究領域：コーパス言語学、英語学、辞書学、英語教授法(TESOL)
担当科目：「学術英語」
主な著書：「ウィズダム英和辞典第4版」(共著、三省堂)、「English on Screen : Learning Real English Through Erin Brockovich」(映画エリン・ブロコビッチで学ぶ実践英語の基本)(共著、金星堂)、「Global Issues Towards Peace DVDで学ぶ共存社会—グローバル時代を考える」(共著、南雲堂)、「見て学ぶアメリカ文化とイギリス文化」(共著、近代映画社)、「映画で学ぶ英語学—English Linguistics Through Movies」(共著、くろしお出版)、「Step Up With Movie English」(共著、金星堂)
学会活動：神経心理学会(評議員)、高次脳機能障害学会(代議員)、心理学会、パーソナリティ心理学会、心理臨床学会、感情心理学会

博士(学術)



山本 五郎 教授 (やまもと ごろう)

福祉社会

人間福祉

研究領域：コーパス言語学、英語学、辞書学、英語教授法(TESOL)
担当科目：「学術英語」
主な著書：「ウィズダム英和辞典第4版」(共著、三省堂)、「English on Screen : Learning Real English Through Erin Brockovich」(映画エリン・ブロコビッチで学ぶ実践英語の基本)(共著、金星堂)、「Global Issues Towards Peace DVDで学ぶ共存社会—グローバル時代を考える」(共著、南雲堂)、「見て学ぶアメリカ文化とイギリス文化」(共著、近代映画社)、「映画で学ぶ英語学—English Linguistics Through Movies」(共著、くろしお出版)、「Step Up With Movie English」(共著、金星堂)
学会活動：神経心理学会(評議員)、高次脳機能障害学会(代議員)、心理学会、パーソナリティ心理学会、心理臨床学会、感情心理学会

博士(学術)



山本 五郎 教授 (やまもと ごろう)

福祉社会

人間福祉

研究領域：コーパス言語学、英語学、辞書学、英語教授法(TESOL)
担当科目：「学術英語」
主な著書：「ウィズダム英和辞典第4版」(共著、三省堂)、「English on Screen : Learning Real English Through Erin Brockovich」(映画エリン・ブロコビッチで学ぶ実践英語の基本)(共著、金星堂)、「Global Issues Towards Peace DVDで学ぶ共存社会—グローバル時代を考える」(共著、南雲堂)、「見て学ぶアメリカ文化とイギリス文化」(共著、近代映画社)、「映画で学ぶ英語学—English Linguistics Through Movies」(共著、くろしお出版)、「Step Up With Movie English」(共著、金星堂)
学会活動：神経心理学会(評議員)、高次脳機能障害学会(代議員)、心理学会、パーソナリティ心理学会、心理臨床学会、感情心理学会

博士(学術)



山本 五郎 教授 (やまもと ごろう)

福祉社会

人間福祉

研究領域：コーパス言語学、英語学、辞書学、英語教授法(TESOL)
担当科目：「学術英語」
主な著書：「ウィズダム英和辞典第4版」(共著、三省堂)、「English on Screen : Learning Real English Through Erin Brockovich」(映画エリン・ブロコビッチで学ぶ実践英語の基本)(共著、金星堂)、「Global Issues Towards Peace DVDで学ぶ共存社会—グローバル時代を考える」(共著、南雲堂)、「見て学ぶアメリカ文化とイギリス文化」(共著、近代映画社)、「映画で学ぶ英語学—English Linguistics Through Movies」(共著、くろしお出版)、「Step Up With Movie English」(共著、金星堂)
学会活動：神経心理学会(評議員)、高次脳機能障害学会(代議員)、心理学会、パーソナリティ心理学会、心理臨床学会、感情心理学会

博士(学術)



山本 五郎 教授 (やまもと ごろう)

福祉社会

人間福祉

研究領域：コーパス言語学、英語学、辞書学、英語教授法(TESOL)
担当科目：「学術英語」
主な著書：「ウィズダム英和辞典第4版」(共著、三省堂)、「English on Screen : Learning Real English Through Erin Brockovich」(映画エリン・ブロコビッチで学ぶ実践英語の基本)(共著、金星堂)、「Global Issues Towards Peace DVDで学ぶ共存社会—グローバル時代を考える」(共著、南雲堂)、「見て学ぶアメリカ文化とイギリス文化」(共著、近代映画社)、「映画で学ぶ英語学—English Linguistics Through Movies」(共著、くろしお出版)、「Step Up With Movie English」(共著、金星堂)
学会活動：神経心理学会(評議員)、高次脳機能障害学会(代議員)、心理学会、パーソナリティ心理学会、心理臨床学会、感情心理学会

博士(学術)



山本 五郎 教授 (やまもと ごろう)

福祉社会

人間福祉

研究領域：コーパス言語学、英語学、辞書学、英語教授法(TESOL)
担当科目：「学術英語」
主な著書：「ウィズダム英和辞典第4版」(共著、三省堂)、「English on Screen : Learning Real English Through Erin Brockovich」(映画エリン・ブロコビッチで学ぶ実践英語の基本)(共著、金星堂)、「Global Issues Towards Peace DVDで学ぶ共存社会—グローバル時代を考える」(共著、南雲堂)、「見て学ぶアメリカ文化とイギリス文化」(共著、近代映画社)、「映画で学ぶ英語学—English Linguistics Through Movies」(共著、くろしお出版)、「Step Up With Movie English」(共著、金星堂)
学会活動：神経心理学会(評議員)、高次脳機能障害学会(代議員)、心理学会、パーソナリティ心理学会、心理臨床学会、感情心理学会

博士(学術)



山本 五郎 教授 (やまもと ごろう)

福祉社会

人間福祉

研究領域：コーパス言語学、英語学、辞書学、英語教授法(TESOL)
担当科目：「学術英語」
主な著書：「ウィズダム英和辞典第4版」(共著、三省堂)、「English on Screen : Learning Real English Through Erin Brockovich」(映画エリン・ブロコビッチで学ぶ実践英語の基本)(共著、金星堂)、「Global Issues Towards Peace DVDで学ぶ共存社会—グローバル時代を考える」(共著、南雲堂)、「見て学ぶアメリカ文化とイギリス文化」(共著、近代映画社)、「映画で学ぶ英語学—English Linguistics Through Movies」(共著、くろしお出版)、「Step Up With Movie English」(共著、金星堂)
学会活動：神経心理学会(評議員)、高次脳機能障害学会(代議員)、心理学会、パーソナリティ心理学会、心理臨床学会、感情心理学会

博士(学術)



山本 五郎 教授 (やまもと ごろう)

福祉社会

人間福祉

研究領域：コーパス言語学、英語学、辞書学、英語教授法(TESOL)
担当科目：「学術英語」
主な著書：「ウィズダム英和辞典第4版」(共著、三省堂)、「English on Screen : Learning Real English Through Erin Brockovich」(映画エリン・ブロコビッチで学ぶ実践英語の基本)(共著、金星堂)、「Global Issues Towards Peace DVDで学ぶ共存社会—グローバル時代を考える」(共著、南雲堂)、「見て学ぶアメリカ文化とイギリス文化」(共著、近代映画社)、「映画で学ぶ英語学—English Linguistics Through Movies」(共著、くろしお出版)、「Step Up With Movie English」(共著、金星堂)
学会活動：神経心理学会(評議員)、高次脳機能障害学会(代議員)、心理学会、パーソナリティ心理学会、心理臨床学会、感情心理学会

博士(学術)



山本 五郎 教授 (やまもと ごろう)

福祉社会

人間福祉

研究領域：コーパス言語学、英語学、辞書学、英語教授法(TESOL)
担当科目：「学術英語」
主な著書：「ウィズダム英和辞典第4版」(共著、三省堂)、「English on Screen : Learning Real English Through Erin Brockovich」(映画エリン・ブロコビッチで学ぶ実践英語の基本)(共著、金星堂)、「Global Issues Towards Peace DVDで学ぶ共存社会—グローバル時代を考える」(共著、南雲堂)、「見て学ぶアメリカ文化とイギリス文化」(共著、近代映画社)、「映画で学ぶ英語学—English Linguistics Through Movies」(共著、くろしお出版)、「Step Up With Movie English」(共著、金星堂)
学会活動：神経心理学会(評議員)、高次脳機能障害学会(代議員)、心理学会、パーソナリティ心理学会、心理臨床学会、感情心理学会

博士(学術)



山本 五郎 教授 (やまもと ごろう)

福祉社会

人間福祉

研究領域：コーパス言語学、英語学、辞書学、英語教授法(TESOL)
担当科目：「学術英語」
主な著書：「ウィズダム英和辞典第4版」(共著、三省堂)、「English on Screen : Learning Real English Through Erin Brockovich」(映画エリン・ブロコビッチで学ぶ実践英語の基本)(共著、金星堂)、「Global Issues Towards Peace DVDで学ぶ共存社会—グローバル時代を考える」(共著、南雲堂)、「見て学ぶアメリカ文化とイギリス文化」(共著、近代映画社)、「映画で学ぶ英語学—English Linguistics Through Movies」(共著、くろしお出版)、「Step Up With Movie English」(共著、金星堂)
学会活動：神経心理学会(評議員)、高次脳機能障害学会(代議員)、心理学会、パーソナリティ心理学会、心理臨床学会、感情心理学会

博士(学術)



山本 五郎 教授 (やまもと ごろう)

福祉社会

人間福祉

研究領域：コーパス言語学、英語学、辞書学、英語教授法(TESOL)
担当科目：「学術英語」
主な著書：「ウィズダム英和辞典第4版」(共著、三省堂)、「English on Screen : Learning Real English Through Erin Brockovich」(映画エリン・ブロコビッチで学ぶ実践英語の基本)(共著、金星堂)、「Global Issues Towards Peace DVDで学ぶ共存社会—グローバル時代を考える」(共著、南雲堂)、「見て学ぶアメリカ文化とイギリス文化」(共著、近代映画社)、「映画で学ぶ英語学—English Linguistics Through Movies」(共著、くろしお出版)、「Step Up With Movie English」(共著、金星堂)
学会活動：神経心理学会(評議員)、高次脳機能障害学会(代議員)、心理学会、パーソナリティ心理学会、心理臨床学会、感情心理学会

博士(学術)



山本 五郎 教授 (やまもと ごろう)

福祉社会

人間福祉

研究領域：コーパス言語学、英語学、辞書学、英語教授法(TESOL)
担当科目：「学術英語」
主な著書：「ウィズダム英和辞典第4版」(共著、三省堂)、「English on Screen : Learning Real English Through Erin Brockovich」(映画エリン・ブロコビッチで学ぶ実践英語の基本)(共著、金星堂)、「Global Issues Towards Peace DVDで学ぶ共存社会—グローバル時代を考える」(共著、南雲堂)、「見て学ぶアメリカ文化とイギリス文化」(共著、近代映画社)、「映画で学ぶ英語学—English Linguistics Through Movies」(共著、くろしお出版)、「Step Up With Movie English」(共著、金星堂)
学会活動：神経心理学会(評議員)、高次脳機能障害学会(代議員)、心理学会、パーソナリティ心理学会、心理臨床学会、感情心理学会

博士(学術)

福祉社会専攻

修士課程

Major in Social Policy and Community Development

本専攻では、一人ひとりの Well-being の実現を支援することができる、高度専門職業人（ソーシャルワーカー、ケアマネジャー、コミュニティ・プランナー等）と研究者の養成をめざします。カリキュラムは、専攻の基礎となる「専門共通科目」、ソーシャルワーク系、システム・マネジメント系、コミュニティ・デザイン系、研究基盤の4つの系からなる「専門展開科目」、修士論文の指導やフィールドワークを通して研究指導を行う「演習科目」によって構成されています。

≫ カリキュラム構成図（一部抜粋）

専門共通科目（4単位以上を選択）

福祉社会研究に共通する研究方法を学ぶ

- ・福祉社会研究法
- ・地域共生社会特論
- ・社会福祉学特論

※各科目すべて2単位

専門展開科目（14単位以上を選択）

現代の福祉社会の形成に関わる最先端の課題と理論を学ぶ

【ソーシャルワーク系】

- ・ソーシャルワーク理論研究特論
- ・ソーシャルワーク実践研究特論
- ・生活問題特論

【システム・マネジメント系】

- ・ソーシャルポリシー特論
- ・保健医療福祉システム特論
- ・福祉経営特論

【コミュニティ・デザイン系】

- ・地域空間学特論
- ・地域マネジメント特論
- ・地域環境特論

【研究基盤】

- ・原書講読研究
- ・学術英語
- ・福祉社会データ解析

※各科目すべて2単位

演習科目（すべて必修12単位）

個々の研究課題に沿って、修士論文に収めるよう個別指導を行う

- ・論文研究演習Ⅰ④
- ・論文研究演習Ⅱ④
- ・実践研究演習Ⅰ②
- ・実践研究演習Ⅱ②

※○数字は単位数

2020年度より市ヶ谷キャンパスで 受講できる科目が増えました！

コースワーク（講義）は市ヶ谷キャンパスにて夜間の開講科目を増やし、リサーチワーク（研究指導や発表会）は多摩キャンパスで行われます。さらに、長期履修制度を導入するなど、社会人の方にも学びやすい環境・制度を整えていますので、ご自身のライフスタイルに合わせて仕事を続けながら研究活動に取り組むことができます。

仕事をしながら通学する先輩 VOICE!

大西 連 さん

2021年入学

仕事と研究を両立している社会人学生のインタビュー記事掲載サイトもあわせてご覧ください。



≫ 修了生の研究テーマ（抜粋）

- ・学校における子どもの課題解決に関する考察
ー養護教諭の「ケース化」をめぐる検討ー
- ・在宅で生活する知的障害者の孤立に関する研究
ー家族を失った知的障害者に対する支援事例からー
- ・大学生等の世帯分離に内在する矛盾と世帯への影響に関する研究
- ・中国残留孤児の介護コミュニティ（デイサービス）による新たなエスニック・アイデンティティ獲得の可能性
- ・モンゴル人介護技能実習生の受入機関による研修に関する一考察
- ・寺院の社会福祉実践における専門職との連携に関する研究
- ・独居高齢者のライフエンディング・ステージにおける準備行動についての研究
ー独居高齢者へのインタビュー調査の分析を通じてー

Message



▶ 教員

佐野 竜平 教授

研究領域：
アジアの障害インクルーシブな国際協力・開発、循環型経済、障害者の暗黙知、障害者権利条約

本専攻では、主に社会福祉とコミュニティ・マネジメントの観点から「Well-being」の実現に関する研究が行われています。変わりゆく現代福祉に関連した学問領域であり、様々な視点から問いかけ、結論を導き出す手法を身に付けていくことになります。一見関連のないトピックをつながることで斬新な発想を創出するなど、日々の学びに限りがないことを実感できます。幅広い研究領域を持つ教員とともに未知の世界に飛び込んでみませんか。飽くなき探究心を持つ皆さんと一緒に新しい研究ができる日を楽しみにしています。



▶ 在学生

吉井 晴海 さん

2021年入学
西南学院大学 人間科学部
社会福祉学科

私は、学校と地域の協働を推進するスクールソーシャルワーカーの実践のあり方について研究しています。人間社会研究科では、様々な分野を専門とする先生からご指導を受けることができ、普段の授業でも福祉、地域、心理に関する研究を行う多様な生徒と議論し学び合える機会が多くあります。このような環境で学ぶ中で、私の視野は広がり日々の学びや自分自身の研究を多角的な視点で考えられるようになりました。卒業後は大学院での学びを活かし、現場で子どもたちの支援に携わりたいと考えています。みなさんもこの学び舎で有意義な学びの時間を過ごしてみませんか。



▶ 修了生

葛西 優香 さん

2020年修了
東日本大震災・原子力災害
伝承館 常任研究員
東京大学大学院 学際情報学
府学際情報学
株式会社百年防災社

現在、福島県双葉郡にあります伝承館で研究を進めています。大学院在学中は、地域の防災力強化のための組織のあり方について研究し、現在も変わらず地域特性ごとに異なる組織の形成方法について検証しています。大学院では都市計画学や社会学など様々な学問の先生方に調査に向き合う姿勢と方法論を学びました。自分が抱えている問題意識はどこにあり、どの方法論で検証を進めるのか、自分の軸を見つけるきっかけをいただいたと思っています。皆様も心の中にある疑問をどのように究明すればよいのか、一緒に考える学びの場に踏み出してみてください。

臨床心理学専攻

Major in Clinical Psychology

修士課程

公認心理師(国家資格)受験資格取得に要する科目を開講
(財)日本臨床心理士資格認定協会第1種指定大学院

近年頻発する児童や青年の事件で繰り返し指摘されるように、心のケアは社会全体において緊急の課題となっています。本専攻ではこうした社会的ニーズに応え、心のケアの専門家としての公認心理師と臨床心理士を養成します。また、心のケアは単に教育の領域にとどまらず、医療や福祉、司法・矯正、企業のメンタルヘルス、さらにはコミュニティの再生・創造の問題とも密接に関わっており、このような臨床心理学へのニーズの多様化・高度化に対応した高度職業人と研究者の養成をめざします。カリキュラムは、臨床心理学を学ぶための基幹を修得する「専門基幹科目」、それらをより深く展開するための科目と各論的に幅を広げる科目からなる「専門展開科目」、修士論文の指導を行う「研究指導科目」によって構成されています。

≫ カリキュラム・ツリー (一部抜粋)

専門基幹科目 (全て必修16単位)

臨床心理学全般の学習、カウンセリングや種々の臨床心理学査定法等について学ぶ

- ・臨床心理基礎実習②
- ・臨床心理学特論④
- ・臨床心理面接特論Ⅰ
(心理支援に関する理論と実践)②
- ・臨床心理面接特論Ⅱ②
- ・臨床心理査定実習Ⅰ
(心理的アセスメントに関する理論と実践)②
- ・臨床心理査定実習Ⅱ②
- ・臨床心理実習Ⅰ(心理実践実習)①
- ・臨床心理実習Ⅱ①

※○数字は単位数

臨床心理相談室

来談者の受理解、心理査定、心理面接を行う

専門展開科目 (14単位以上を選択)

専門基幹科目の学習と臨床心理実習をより深く展開するために専門基幹科目で学んだ土台を確かにし、各論的に幅を広げる

1. 研究法科目：臨床心理の基礎となる研究方法を学ぶ科目
・心理学研究法特論・データ分析法・臨床心理学研究法特論
2. 基礎心理科目：臨床心理の基礎となる心理学科目
・認知心理学特論・教育心理学特論・発達心理学特論
3. 家族・社会心理科目：家族や社会の心理的問題を探究する科目
・社会病理学特論・家族心理学特論・犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)
4. 関連専門領域科目：臨床心理と深い関連を持つ専門分野の科目
・精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)・障害者(児)心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)・産業・労働分野に関する理論と支援の展開・児童福祉特論・高齢者福祉特論
5. 専門技能科目：臨床心理の専門技能を深く学ぶ科目
・教育分野に関する理論と支援の展開・グループ・アプローチ特論・家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践・投影法特論・心の健康教育に関する理論と実践・力動的心理学療法特論・比較心理療法特論・心理臨床実習・医療心理学特論

※科目は全て2単位

研究指導科目 (必修4単位)

個々の研究課題に沿って、修士論文に収めるよう個別指導を行う

- ・論文研究指導④

※○数字は単位数

≫ 修了生の研究テーマ (抜粋)

- ・心理士の職業的発達に影響を及ぼす体験について
ー自己変容との関連からー
- ・内観療法における心理的変容のプロセス
ー愛着スタイルを中心にー
- ・入院森田療法患者の体験分析
- ・アタッチメントと長期恋愛経験からみる青年の自己愛的脆弱性と自尊感情
ー大学入学時からの変化に着目してー
- ・大学生の恥意識についての研究
ー対人恐怖性傾向と回避傾向、及び心理的自立との関連からー
- ・コンパニオン・アニマルが飼育者に及ぼす心理的影響の検討
- ・精神疾患の親をもつ子どものリカバリーに関する研究
- ・ワーク・ライフ・バランスの観点から見たワーク・エンゲイジメント促進要因の検討
ー仕事と家庭に関する価値観とコンフリクトに焦点を当ててー
- ・twitter依存とメンタルヘルスとの関連について
ー愛着と自己愛からの検討ー
- ・大学生アスリートにおける受傷体験と反すうの関連性
- ・マインドフルネスが孤独感の低減に及ぼす効果
ー孤独に対する捉え方に着目してー
- ・心理学的ストレスプロセスにおけるレジリエンスが持つ効果に関する研究
- ・在宅介護・看取りを行った家族の喪失体験の意味づけ
ー在宅介護・看取りの経験が与える影響に着目してー
- ・ASD傾向、ADHD傾向を有する場合のストレス対処行動及び愛着スタイルが精神健康度に与える影響について

Message



▶ 教員

望月 聡 教授
研究領域：神経心理学、
認知行動病理学

臨床心理学専攻では、臨床心理学や精神医学を専門とし、第一線で活躍する教授陣が学生を指導しています。また、学内に設置された臨床心理相談室や学外の病院・クリニックなど、様々な臨床現場での実習を用意し、2018年4月からは公認心理師(国家資格)の受験資格取得に必要な科目を開講しています。本専攻では、これらの専門的・実践的な学びを通して、社会的ニーズに応えられる、心のケアの専門家としての公認心理師や臨床心理士の養成に取り組んでいます。多くの方々からの積極的なチャレンジを期待しています。



▶ 在学生

平敷 南奈 さん
2021年入学
法政大学 現代福祉学部
臨床心理学科

私は現在、青年期を対象に友人関係がアイデンティティ形成に与える影響について調査を進めています。また、学外での病院実習も始まり、患者様一人一人の支援を考えていく心理の面白さを実感しています。本学で得た経験を糧に、将来は寄り添った親子支援ができる心理士になりたいと考えています。臨床心理学専攻は、ゼミの垣根がないため、様々な専門領域の先生方からご指導頂ける恵まれた環境にあります。積極的に学ぶことで多角的視点を養うと共に興味関心や研究について深めることができると思います。みなさんも充実した2年間を過ごしてみませんか。



▶ 修了生

五十嵐 瑞穂 さん
2018年修了
医療法人社団哺育会
横浜相原病院 心理療法科
主任 臨床心理士 公認心理師

私は現在、精神科の病院で心理検査や心理面接等を主な業務として勤めており、職場の机には大学院で学んだ頃の資料が今も置いてあります。臨床心理学専攻では現場経験の豊富な先生方に研究室の垣根を越えてご指導頂くことが出来るため、心理支援の技術や論文作成に関わるデータ分析、心理職として求められる姿勢等、幅広い分野を自由に学ぶことが出来ました。修了後にも交流や研鑽の機会が設けられている点も本学の魅力です。今後、大学院での経験をもとにスキルを磨き続け、心理支援に役立てていきたいと思っています。

人間福祉専攻

博士後期課程

Major in Social Policy, Community Development, Clinical Psychology

人間社会を構成する生活者の Well-being を実現するためには、これまで積み重ねられてきた社会福祉実践の展開に加えて、「心のケア」から「コミュニティマネジメント」までを含んだトータルな実践が必要とされています。こうした総合的な人間福祉を実現するための理論研究は、21 世紀の福祉社会を展望する上で重要な課題といえるでしょう。人間福祉専攻は、修士課程の教育研究をさらに発展させ、地域社会を基盤に人間の「生」(Life)をトータルに捉え、新しい福祉社会の構築に関する研究者の養成をめざします。カリキュラムは、福祉・コミュニティ・臨床心理に関わる特殊研究・講義と人間福祉特別演習からなりますが、博士後期課程は科目を履修することが主目的ではなく、研究指導を受け博士論文をまとめることを目的としています。

≫ カリキュラム構成図 (一部抜粋)

必修科目

個々の研究課題に沿って、修士論文に収めるよう個別指導を行う

- ・ 人間福祉特別演習Ⅰ
- ・ 人間福祉特別演習Ⅱ
- ・ 人間福祉特別演習Ⅲ

※各科目すべて4単位

選択・必修科目 (8単位以上を選択)

各領域の重要かつ先端的な研究動向について学ぶ

- | | | |
|--------------|---------------|-----------------------|
| ・ 福祉政策系特殊講義Ⅰ | ・ 地域・政策系特殊講義Ⅰ | ・ 臨床心理系 (心理・地域) 特殊講義Ⅰ |
| ・ 福祉政策系特殊講義Ⅱ | ・ 地域・政策系特殊講義Ⅱ | ・ 臨床心理系 (心理・地域) 特殊講義Ⅱ |
| ・ 福祉社会系特殊講義Ⅰ | ・ 地域・文化系特殊講義Ⅰ | ・ 臨床心理系 (病理・発達) 特殊講義Ⅰ |
| ・ 福祉社会系特殊講義Ⅱ | ・ 地域・文化系特殊講義Ⅱ | ・ 臨床心理系 (病理・発達) 特殊講義Ⅱ |
| ・ 福祉臨床系特殊講義Ⅰ | | |
| ・ 福祉臨床系特殊講義Ⅱ | | |

※各科目すべて2単位

≫ 修了生の研究テーマ (抜粋)

- ・ 自然科学的人間観に着目したクリニカルサイコロジストの実践性と科学性の関連
- ・ 高齢者夫婦間介護のリスクに関する研究 ―その構成要因と支援の方法について―
- ・ 大正期から昭和初期の社会事業における民間助成財団の意義と役割 ―財団法人原田積善会を事例として―
- ・ 生活保護法準用措置による外国人保護実施過程の分析 ―形成と展開―
- ・ 居住に困難を抱える単身高齢者の居住支援におけるコミュニティソーシャルワークの意義と機能
- ・ 地域特性に応じた介護保険事業の効率性についての実証的研究
- ・ Obsessive-Compulsive Disorder in Adults with Autism Spectrum Disorders Comorbidity : Examining Neuropsychological Features

Message



▶ 教員

佐藤 繭美 教授

研究領域：ソーシャルワーク論(特に緩和ケアを中心として)、当事者および家族への支援(セルフヘルプ・グループを中心として)

「生活 (life)」とは、その人の「生き方」ともいえます。人は生を受けてから様々な「生き方」をします。誰もが死を迎えるからこそ、死を迎えるまでの「生活」を支援していくことがソーシャルワークだと思っています。その視点をもとに、私はソーシャルワーク実践研究を進めています。本専攻には、社会制度の狭間に生じる課題に目を向ける教員が多くそろっています。社会課題は一人では解決できません。そのことを十分に知り尽くしている教員たちだからこそ、論文執筆にむけた学びのフォローは手厚く行っています。研究という視座から、社会課題と格闘する皆さんを応援します。



▶ 在学生

山崎 禎広 さん

2021年度入学

私は、高齢者の人生の最終期の支援について研究をしています。今日では、高齢者が直面する課題は非常に複雑になってきており、多様な視点からの知見を踏まえた支援が求められるようになっていきます。本学では、社会福祉や臨床心理の領域に加えて、コミュニティデザインやなど幅広い研究の領域を持つ教授が所属しており、多様な視点から研究を深めることができます。また、在学生の研究テーマも多様であり、学生間でも充実した議論ができています。本学を志望する皆様とも、時には議論をして、時には励まし合いながらお互いの研究を深めていけることを楽しみにしております。



▶ 修了生

洪心璐 さん

2021年修了

東洋大学 社会学部助教

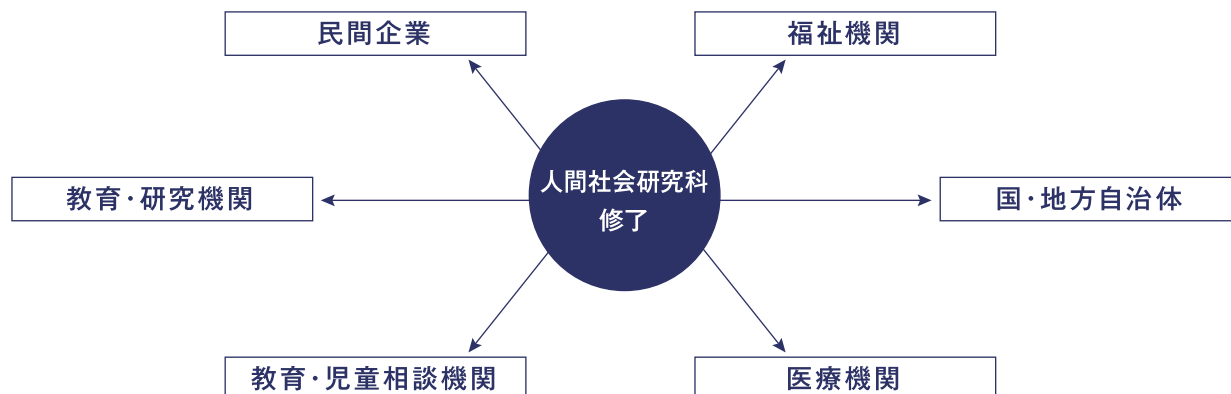
私は日中両国の架け橋になることを目指し、人間社会研究科に入学しました。在学中に、高齢者の居住支援のあり方に関するテーマで博士論文を執筆しました。繰り返し行う指導教官、仲間同士のディスカッションなどから、論理的に考える思考プロセスを学ぶことができました。このことが今、大学教員として、授業を考えるうえで本当に役立っています。自分らしい生き方について悩んだ時期もありましたが、指導教員はもちろん多くの先生方からの確かな指導を頂き、進取の意欲に溢れた仲間達と一歩一歩前へ進み、「その先の自分を創る」ことが出来ました。悩んでいる人こそ、積極的に進学の相談をされることをお勧めします。

修了者の進路

修了した方々は大学院での豊かな経験を活かし、様々な進路をとっています。

また、働きながら研究活動を行い、研究の成果を業務に活かされている方もいます。近年の主な進路先をまとめました。

大学院での研究活動を活かして未来の道を拓きませんか？



修了後の進路 (過去17年間分)

福祉社会専攻 ◎修士課程

・福祉機関	15名	・団体職員	4名
・民間企業	18名	・社会人入学で修了後も在職	25名
・進学（博士後期課程ほか）	13名	・その他	27名
・公務員	5名	・研究生	7名
・独立行政法人	1名	・教員	1名

臨床心理学専攻 ◎修士課程

「公認心理師」資格取得者 2018～2020 年度修了生 39 名受験 37 名合格
「臨床心理士」資格取得者 2004～2020 年度修了生 237 名受験 228 名合格

・医療機関（心理職）	69名	・団体職員	8名
・医療機関	5名	・民間企業（心理職・総合職）	12名
・教育相談機関（心理職）	40名	・児童福祉相談所関係（心理職）	17名
・スクールカウンセラー	12名	・進学（博士後期課程ほか）	9名
・福祉機関（心理職）	24名	・大学学生相談室	3名
・公務員（含む心理職）	40名	・その他	11名

人間福祉専攻 (学位取得者33名) ◎博士後期課程

・私立大学教員	16名	・教員	1名
・国立大学教員	1名	・公務員	5名
・私立大学研究員	4名	・団体職員	1名
・独立行政法人研究員	1名	・その他	3名
・医療機関（福祉職）	1名		

※継続在職も含む

キャンパス紹介



多摩キャンパス



院生研究室



講義室



カフェラウンジ



臨床心理相談室

◀ 臨床心理学専攻の学生が公認心理師・臨床心理士をめざし実習を行う施設です。面接室2つ、プレイセラピー室3つ、グループ療法室1つを備えた充実した環境で、公認心理師・臨床心理士の資格を持ったカウンセラーによる指導が行われます。

大学院は、もっと学びやすくなります！

法政大学大学院では、より幅広い優秀な人材を受け入れるための学生支援策として、奨学金制度やティーチングアシスタント(TA)制度、リサーチアシスタント(RA)制度を充実させ、経済面からも大学院での研究活動を支援しています。

福祉社会専攻および臨床心理学専攻は、本学を含めた10大学から成り立つ首都大学院コンソーシアムに加盟し、さらに福祉社会専攻は、本学を含めた13大学から成り立つ大学院社会福祉学専攻課程協議会に加盟しているなど、他大学院での科目を修得することで修了単位に認定される単位互換制度を設けています。

首都大学院 コンソーシアム

順天堂大学大学院、専修大学大学院、中央大学大学院、東京電機大学大学院、東京理科大学大学院、東洋大学大学院、日本大学大学院、明治大学大学院、共立女子大学大学院、玉川大学大学院

大学院社会福祉学専攻課程協議会協定校

上智大学大学院、明治学院大学大学院、日本女子大学大学院、東洋大学大学院、淑徳大学大学院、日本社会事業大学大学院、大正大学大学院、立正大学大学院、ルーテル学院大学大学院、関東学院大学大学院、立教大学大学院、日本大学大学院

≫ 入試日程および選抜方法 [※詳細は入学試験要項にてご確認ください]

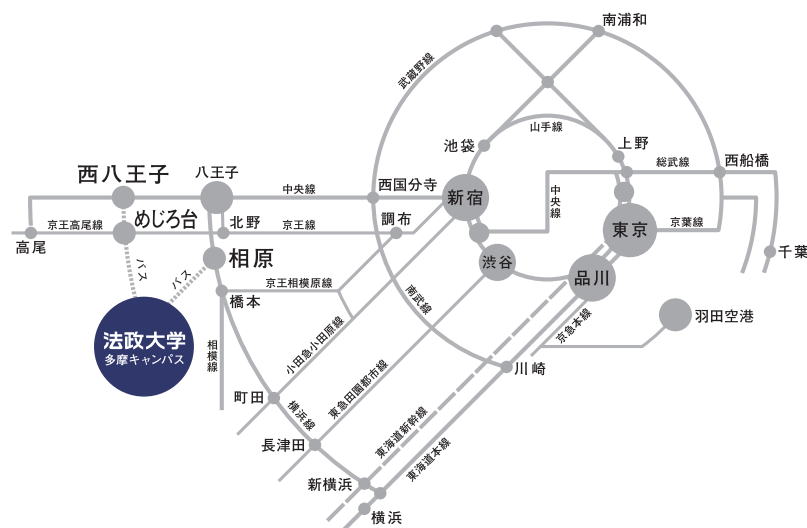
専攻	募集 定員	入試経路	出願期間	筆記試験日	口述試験日	最終合格発表	選抜方法
福祉社会	15名	一般社会人	2022年 8月26日(金)～9月 2日(金)	9月25日(日)	9月25日(日)	10月 7日(金)	一般
		外国人留学生	2022年 8月19日(金)～8月26日(金)	9月25日(日)	9月25日(日)	10月 7日(金)	社会人
		一般社会人	2023年 1月13日(金)～1月20日(金)	2月18日(土)	2月18日(土)	2月24日(金)	外国人留学生
		外国人留学生	2023年 1月 6日(金)～1月13日(金)	2月18日(土)	2月18日(土)	2月24日(金)	研修生
		研修生(留学生含む)	2023年 1月 6日(金)～1月13日(金)	2月18日(土)	2月18日(土)	2月24日(金)	
臨床心理学	15名	秋季 一般	2022年 8月26日(金)～9月 2日(金)	9月25日(日)	9月28日(水)	10月 7日(金)	第一次審査
		春季 一般	2023年 1月13日(金)～1月20日(金)	2月18日(土)	2月21日(火)	2月24日(金)	第二次審査
人間福祉	5名	春季 一般	2023年 1月13日(金)～1月20日(金)	2月18日(土)	2月18日(土)	2月24日(金)	筆記試験(英語)および口述試験(面接)

≫ 進学相談会日程 各専攻の教育内容の説明・教員による個別面談・入試要項配布

2022年度の実施につきましては、原則WEBによる情報発信を行い、大学施設にご来場いただく形式では実施しません。

詳細は以下の法政大学大学院ホームページよりご確認ください。

<http://www.hosei.ac.jp/gs/>



- JR中央線 新宿駅から快速で54分(特別快速で42分)、西八王子駅下車
バス約22分(「法政大学」下車)
- JR横浜線 新横浜駅から38分、相原駅下車
バス約13分(「法政大学」下車)
- 京王線 新宿駅から準特急で40分(急行50分)、めじろ台駅下車、
バス約10分(「法政大学」下車)

法政大学大学院 人間社会研究科

〒194-0298 東京都町田市相原町 4342
TEL.042-783-4047 / FAX.042-783-2808
E-mail: fukushi@hosei.ac.jp

<http://www.hosei.ac.jp/gs/ningenshakai/>

資料請求はこちらへアクセス

<https://www.postin-svr.com/entry/hosei/gs/index.asp>